※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０９

令和５年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生活の中で普段何気なく感じていることを意識して留めておくことが大切です。
・視覚、触覚、感じ取ったことから思考する「絵画・彫刻」、社会から目的や機能を考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」「鑑賞」の分野について学習します。
・生徒同士が作品を相互に鑑賞（批評）することで、様々な違った視点や考え方を確認することが出来またそれらを共有することで理解がより深まったりします。

２　学習の到達目標

・制作時間が長い作品において、まずは制作過程を理解したうえで、作品イメージを組み立てていく。完成のイメージから遡って工程などを理解させる。
・現代社会の中での様々な美術文化（表現）に対する理解と関心を引き出してゆく。
・個性豊かな表現の可能性や、知識、技法をさらに発展させ自己のイメージに少しでも近づけられるよう技術を学びながら制作していく。
・周りから受ける刺激や意見を意識的に感じられるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・主題に沿った、素材や色彩、造形を理解し表現できているか。 ・技法や素材、用具の特性を理解させる。制作に必要な技術、知識を身につけ、教材に応じて表現方法を拡げる工夫をしているか。 ・	・独創性、想像力を働かせ、感じ思考することの必要性。作業のみに留まらず、作業と思考を合わせる事で、「表現」をさせる。 ・主題を基に、素材や表現の特性や造形性を考えて構想している。 ・発想や構想において学習を深めるための課題の中で示す。	・他の生徒の作品についての意見や感想を知る事で理解の幅を持たせる。 ・映像表現や美術作品、またはそれらの作家性や時代背景、文化を感じることで理解する ・作品完成における達成感を得、また相互鑑賞の中で違った意見や感想を知ることで理解の幅を拡げる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現と選択	【鑑賞】【デザイン】【絵画、彫刻】・オリエンテーション 教科書を基に、「表現とは何か」	a:（知識）教科書から様々な表現方法や歴史を観る。 （技能）鉛筆ドローイングの練習 毎回の授業開始時のクロッキー b:（思考）感想 c:（主体的）毎時間、学習の記録を記入することで授業の今と今後振り返り	表現の美術史について クロッキー	取り組み状況	学習の記録 クロッキー
	屏風絵	【絵画】 ・日本屏風絵の歴史や様式を理解し制作する。 ・狩野派や大和絵、または現代における屏風作品を紹介し、構図や様々な表現方法を学ぶ。	a:（知識）屏風の歴史から、様々な時代の作家や構図、独特な屏風の構図から遠近法の特徴の理解。 b:（思考：表現）どのような意図で題材や構図を決めたか。「ただ何となく」な部分を今回は排したい。 c:（主体的）幾つのパターンの構図やモチーフの可能性を考える。学習の記録から施行の変遷が辿れるようにしておく。	ワークシート エスキース作品 振り返りシート	エスキース作品 作品評価	学習の記録 エスキース作品 取り組み状況 振り返りシート
2学期	張り子造形	【造形】 張り子造形 ・張り子の形状と大きさを考える。 ・新聞紙で成型後、紙粘土で型取りし、型抜き、(中抜き)、新たに紙を貼り合わせ着色。ニス塗。 ・作品作業工程、特に乾燥時間を確認しながら作業を進める。 ・相互鑑賞プリントの完成	a:（技能）様々な張り子の歴史を知り、張り子の構造を理解し造形の可能性を考える。 b:（発想・構想）様々な形を工夫し考える。自立しうるバランスを考える。 c:（主体的）リアリティ（本物）に迫るということへのこだわり、相互鑑賞	学習の記録 クロッキー 提出作品(平面エスキース) 提出作品(立体)	出作品(平面エスキース) 提出作品(立体	学習の記録(毎時間) クロッキー 相互鑑賞レポート

※令和４年度以降入学生用

	表現Ⅳ	【鑑賞】 ・美術映像鑑賞Ⅰ	a:（知識）　課題に即した興味関心が持てるテーマ（彫刻・リアリティ） b:（美術作家や作品の映像を観ることで作家と時代性を理解し興味を持っている C:お互いの感想を共有する	レポート 課題	レポート 課題	レポート 課題 感想共有
3学期	紙バッグ	【デザイン】 ・紙を使ったデザイン ・基本パターンのデザインを学ぶ。 ・紙袋の仕組みの理解 ・組みひもの仕組みの理科 ・構想 ・制作 ・相互評価	a:（知識）社会生活の中での様々な基本デザインパターンを理解する。 b:（発想や構想） プリントを基に思いつくままアイデアを出していく テーマや目的に沿った内容の確認 （鑑賞）全員の作品を並べ鑑賞することで、新たな発見や改良点を見出していく。 c:アイデアから制作、鑑賞まで振り返ることで、課題の流れを理解する。	学習の記録 アイデアスケッチ 提出作品 相互評価	丁寧な取り組み 提出作品 相互評価	学習の記録 アイデアスケッチ 作品鑑賞レポート 相互評価
	表現Ⅵ	【鑑賞】 ・美術映像鑑賞Ⅱ	a:課題に即した 興味関心が持てるテーマ設定（デザイン） b:美術作家や作品の映像を観ることで作家と時代性を理解し興味を持っている。 C:お互いの感想を共有する	レポート 課題	レポート 課題	レポート 課題 感想共有

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度